

環境経営レポート

<2023年度版>

活動期間:2023年4月1日~2024年3月31日

one for all all for one 一人は万人のために 万人は一人のために



環境省
エコアクション21
認証番号0006739

発行日: 2024年6月28日



TOKYO INSURANCE SERVICE OFFICE

株式会社 東京損害生命保険サービスオフィス

目次	1. 組織の概要	-頁1
	2. 環境経営方針	-頁2
	3. 活動組織及び役割分担	-頁3
	4. 環境経営目標と実績	-頁4
	5. 活動計画及び結果、評価	-頁5
	6. 適合法令と順守確認	-頁6
	7. 代表者の見直し	-頁6
	8. 活動事例紹介	-頁7

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

事業所名 株式会社 東京損害生命保険サービス
代表取締役 荒井 英和

(2) 所在地

本社・事務所 〒387-0007
住所 長野県千曲市屋代2368
保険カフェ南長野店 〒381-2217
住所 長野市稲里町中央1-24-8

(3) 環境管理責任者・連絡先

環境管理責任者 五明 豊
EA21事務局 石坂 純子
連絡先 TEL: 026-273-0066
FAX: 026-273-3372
E-mail: tiso-ishizak@tokyo-ins.com
Home page: <http://www.tokyo-ins.com/>

(4) 事業内容 損害保険代理店及び生命保険の募集に関する業務

(5) 事業の規模 創業: 1970年 5月

資本金 1,000万円

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高(百万円)	80	80	80	80	80	80
従業員	8名	8名	8名	9名	9名	9名
床面積 本社	379㎡	379㎡	379㎡	379㎡	379㎡	379㎡
南長野店	21㎡	21㎡	21㎡	21㎡	21㎡	21㎡

(6) 事業年度 4月～ 3月

(7) 認証登録の範囲 全事業所、全組織

(8) 個人別保有資格、等

損害保険トータルプランナー／トータルライフコンサルタント
FP技能士／AFP住宅ローンアドバイザー etc

環境経営方針

株式会社東京損害生命保険サービスオフィスは、春は“あんずの里”、秋は月の名所“おぼすて”と四季折々の彩をみせる千曲市にあり、保険商品の提供を通じてお客様の夢や目標の実現をサポートする事業活動が、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指して以下の項目を継続的に取り組みます。

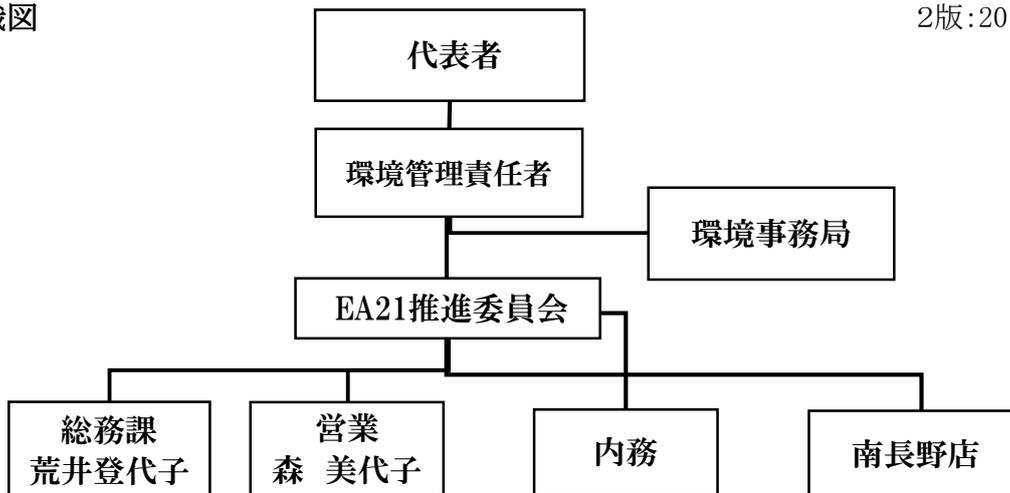
- 1 . 事業活動に関わる環境関連の法規、条例を遵守し、地球規模で取り組むべき国際目標の持続可能な開発目標「SDGs」、弊社のSDGs宣言達成に向けた経営方針に基づき取り組みます。
- 2 . 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - 1) 地球温暖化抑制のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - 2) 廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - 3) 節水の推進に取り組みます。
 - 4) ペーパーレスの推進に努めます。
 - 5) SDGsに取り組みます。
 - 6) 地域での環境保全活動に積極的に参加します。
- 3 . この環境経営方針は全従業員に周知します。

改定	2020年 4月 1日
制定	2009年12月 1日

株式会社 東京損害生命保険サービスオフィス
代表取締役 荒井 英和

3. 実施体制

1) 組織図



※ 各テーマ別のグループを結成、責任者を任命して、改善活動を推進

2) 責任及び権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 システムの構築・運用及び管理に必要な資源(人・設備・費用・技術)を用意する。 環境経営方針の設定、目標・計画の承認及び従業員へ伝達を行なう。 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。 環境経営レポートの承認
管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。 推進委員会を定期的開催し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する。 環境経営目標及び活動計画を作成し、全従業員に周知する。 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善及び見直しと必要な処置を行う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐及び推進委員会の事務局。 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 環境経営目標及び活動計画の原案作成と実績収集及び取りまとめ 環境経営レポートの作成と公開(社内に備付けと地域事務局への送付) 環境関連の外部コミュニケーションの受信窓口。
推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の指示のもと、環境経営システムの運用を行う。 環境経営方針に基づき、環境経営目標及び活動計画の策定を行い、承認を得る。 是正処置又は予防処置を実施し、結果を環境管理責任者に報告する。 関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理。 活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する。 SDGs達成に向けた宣言書の内容に沿った目標策定と推進。
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境経営目標及び活動計画の実施及び達成状況の報告。 自部門の従業員に対する環境経営方針、経営目標の説明と教育訓練の実施 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、環境経営目標を基本に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の推進と提案 異常の早期発見及び緊急時の報告 環境保全活動への積極的な参加 SDGsについての理解を深め、目標に対して意識を持って取り組む。

4. 環境目標と実績の推移

環境中期数値目標と結果

第5期 環境活動

※上段計画、下段実績と評価

環境目標		2022年度 (基準年)	2023年度 23年4月～24年3月		2024年度 24年4月～25年3月		2025年度 25年4月～26年3月		
1	CO2排出量の削減 (Kg-CO2)	22,506	目標	22,056	2%	22,056	2%	22,056	2%
			実績	24,349	×				
2	電気使用量の削減 ※1 (kwh)	18,846	目標	18,469	2%	18,469	2%	18,469	2%
			実績	18,230					
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	6,240	計画	6,115	2%	6,115	2%	6,115	2%
			実績	6,883	×				
4	一般廃棄物の削減 (kg)	1,012	計画	992	2%	982	3%	982	3%
			実績	560	○				
5	水使用量の削減 (m ³)	137	計画	136	1%	136	1%	136	1%
			実績	145					
6	環境サービスの推進 (テレマティクス自動車保険販売率) (%)	30	計画	30	-	30	-	30	-
			実績	55	○				
7	環境サービスの推進 (デジタル手続率)(%)	50	計画	50	-	50	-	50	-
			実績	89					
8	環境サービスの推進 (ECO保険証券)(%)	25	計画	25	-	25	-	25	-
			実績	36					
9	SDGs(働き方改革) (時間外労働35H以内)(人)	—	計画	9	-	9	-	9	-
			実績	7	×				
10	SDGs(公的保険アトバイス) (Webセミナー開催数)(月/ 回)	—	計画	月1回	-	月1回	-	月1回	-
			実績	月1回					
11	環境保全活動に参加 ※2 (回)	2回以上	計画	2	-	2	-	2	-
			実績	2	○				

※1 CO2排出量産出基準

(使用化石燃料)×排出係数+購入電力×CO2排出係数(0.459kg-CO2/kWh)

※2 会社周辺の清掃、ボランティア活動への参加回数、等

環境負荷項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量(kwh)	18,053	19,431	18,898	18,829	20,323	19,458	18,846	18,230
ガソリン使用量(ℓ)	6,343	6,458	6,266	4,715	4,498	5,349	6,240	6,883
CO2排出量(kg)	23,266	24,183	25,436	19,844	19,092	20,698	22,506	24,349
一般廃棄物(kg)	239	650	861	612	791	703	1,012	560

5. 活動の結果と評価、次年度の取り組み

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

	活動計画	評価	取組の結果	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 電力使用量の削減	◎	目標18,469kwhに対して、実績18,230kwhと2%の削減ができた。	今年度より基準年を2022年度の変えて実態に則した目標と実績に変更した。電力使用量は目標値以内に収まり日頃の社員の節電でギリギリ目標が達成できたと思う
	・昼休み及び不使用部屋の節電(消灯)	◎		
	・エアコンの温度設定遵守(冷房28度、暖房20度)	◎		
	・パソコン、他の機器(待機時)のスイッチ切断	◎		
	2. ガソリン使用量の削減	×	ガソリンの使用量は目標値を112.6%オーバーした。5月にコロナが5類に移行した事より、今まで訪問を遠慮していたお客様にも積極的に訪問をした為と考えられる。使用量は増えたがエコ運転や保険会社の運転特性を診断するドラレコを使用してCO2排出量削減に努めた	上記と同じく基準年を変更したが、保険会社専用のドラレコ販売率が30%目標を大幅に超えて当社契約者へ全体の55%の販売率を達成したことは広くビッグデータの取得に役立つと共に事故を起こさせない取組が広まっていくことを期待したい
	・見守るドラレコ/車載器の装着(安全運転スコア)	◎		
・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	○			
・お客様訪問の効率化	○			
・社有車の日常点検、従業員車2回/年	○			
廃棄物削減	3. 一般廃棄物の削減	◎	今回は保険会社からの規定集や大きな冊子等がペーパーレスになったこともあり、廃棄が大幅に減った。しかし、当社保有の書類等、1年ごとに刷新して廃棄するものもあるので今後も余分な廃棄物を出さないよう注意していきたい	今年度、かなり廃棄物が少なかった。保険会社からの大きな冊子等がペーパーレスになっている要因もあるが生保会社のパンフや契約概要は残っているため改定あれば廃棄は増えるのが妥当と言えるため、引き続き余分な廃棄物を出さないよう全員で注意していきたい
	・分別と再生利用(裏紙、等)の促進	○		
	・計量と分別状況の点検	○		
	・印刷項目の必要性チェック	○		
用水	4. 水使用量削減	×	今年度は目標値を106%オーバーしたが12月より社員1名増員になっていることも影響と考えられる。引き続き節水に取組んでいきたい	社員全員に節水の意識はあると思うがトイレや給湯室の水使用時に手洗い中は水を止める等、細かなところを気をつけていきたい
	・節水ラベル貼付	○		
	・出し過ぎず、確実に止める	○		
	・使用量、使用料金の把握と掲示	○		
環境サービス	5. 環境サービスの推進	◎	全項目目標を達成できた。保険会社推進のドラレコや車載器の運転診断を通して安全運転をしてもらう事や事故時の迅速な解決に貢献できるように今後もお客様のためにできることを進めていきたい	ドラレコや車載器について自動車保険継続時に全件提案をする等の取組の結果、お客様のメリットになる提案が出来た結果と思う。デジタル手続やエコ証券(ペーパーレス)など若い世代中心に勧めていきたい
	・保険会社専用ドラレコ/車載器の推進30%以上	◎		
	・デジタル手続比率	◎		
	・ECO保険証券	◎		
SDGs	6. 働き方改革 (SDGs達成に向けた重点的な取組)	△	2023年度より長野県のSDGs推進企業登録制度への登録支援をしている。当社既顧客以外にもご案内をして保険会社と共同で取組支援が出来た	残業時間の削減については営業社員がお客様の帰宅時間や休日に時間を合わせることもあり、なかなか減っていかないがご理解を求めながらワークライフバランスに取り組んでいきたい
	・残業時間の削減	△		
	・ワークライフバランスの実現	-		
	・えるぼし認定の取得	-		
	・公的保険アドバイス	-		
	・SDGs登録支援	◎		
社会貢献	7. 環境保全活動の推進	○	コロナ5類に移行した後、活動も活発になり、それぞれの住んでいる地区での環境活動に参加したり会社を離れても積極的に地域の活動に参加できた	国道沿いの空きスペースにチューリップの植栽をしたり、植え込みの中の草取り等、会社の活動としても地域の美化協力に引き続き努めていきたい
	・資源ごみ、廃品回収への協力	○		
	・ごみゼロ運動、等への協力	○		
コメント	活動の			

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる義務規定の主な環境関連法規等とその主な内容

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認 (―:判断なし)

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	・一般廃棄物の委託先の確認 ・分別と計量及び抑制	千曲市委託業者	○
		排出記録表	○
フロン排出抑制法	・フロン類使用機器の定期点検	点検表	○
	・第1種特定製品の修理・処分	引取証明書	―
容器包装リサイクル法	・分別及び委託、適正処分	引取記録	○
家電リサイクル法	・特定家電の適正処分(委託)	引取記録	―
自動車リサイクル法	・廃自動車の適正処分(委託)	引取記録	―
千曲市条例	・廃棄物の減量化、再資源化の推進	---	○
あいおいニッセイ同和損保 グループ環境行動指針	・環境負荷の低減 ・地域保全活動への推進	活動の記録	○

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

また、過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

7. 経営者の見直し評価と指示

【取り組みの概要】

ea21の環境経営を、SDGs経営の一つとして取組み、自社のみならずお客様をはじめ地域社会への貢献につながる取組として位置づけ活動をしてまいりました。

【取り組みの評価】

自社におけるCO2削減目標に対する取組結果は、実質値で電力使用量目標を下回っているものの、テレマティクス自動車保険のドライブレコーダー設置車の安全運転・エコドライブ評価では、運転特性評価80点以上の運行によりCO2削減に貢献しました。お客様へのテレマティクス自動車保険のドライブレコーダー加入率も目標を大きく達成しています。また、お客様へのSDGs経営支援として、長野県SDGs推進企業登録制度への登録支援並びにBCP(事業継続計画)の中小企業庁の推進する事業継続力強化計画の策定支援を約30社に行い、20社を登録完了までサポートいたしました。

【今後の取り組み】

自社の環境経営取組の中で電力・ガソリン使用量は一定出来るところまでの取組は出来ているものと考え、現在の取組を継続してまいります。長野県SDGs推進企業登録制度への登録支援も引き続き行ってまいります。SDGs登録済企業に対して目標に対する実効性を支援してまいります。

8. 活動事例紹介

1)活動の記録

(写真1)今年も屋代本社前の国道沿いの植え込みにチューリップの植栽を行いました！

(写真2)火災保険等のご提案でお住まいの地区のハザードマップをご提供しリスク確認のご案内をします

(写真3)お掃除・ea21委員会にてエコアクションの審査結果の報告と勉強会を開催しました。

(写真4)屋代本社の周りの植え込みや道路清掃を年2回しています。

写真1



写真3



写真2

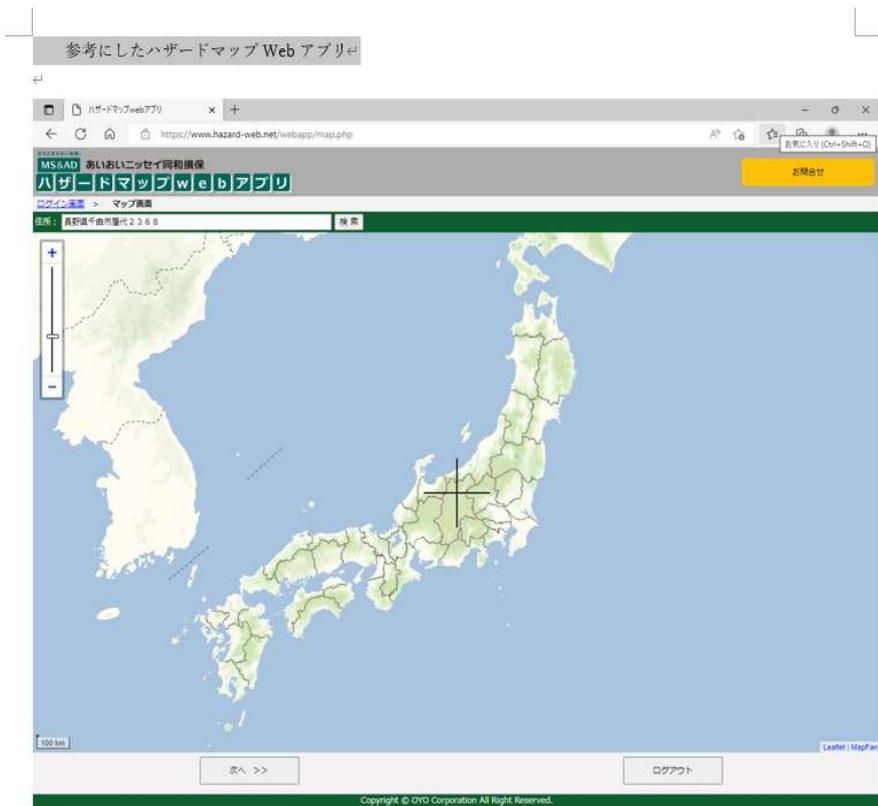


写真4



写真4



(写真5)年に4回ほど南長野店にて公的保険やマネープラン等のセミナーを開催しています。
(写真6) コロナ禍を経て久しぶりの暑気払いを行いました。
(写真7) 毎年恒例の鏡開き
(写真8) 毎年恒例の節分
(写真9) 会社周りの道路の雪かきをします

写真5



写真6



写真7



写真8



写真9



2)非常事態の想定と訓練 実施日 2023年10月10日(火)(全体会議内)

1. 発電機使用訓練

災害時の停電に対応するため
発電機を購入して、使用方法を
習得する。

- ・台風19号での経験から
電力供給の重要性を実感し導入。
使用訓練を行っています。(写真)



2. BCP(事業継続計画)

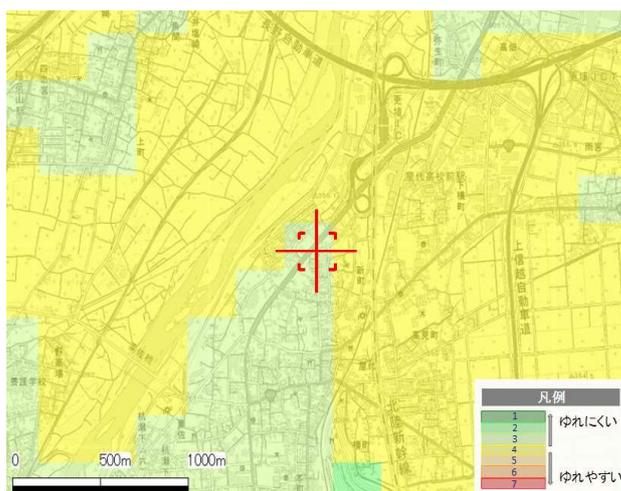
地震保険契約者リストを作成しクラウド上に保存。半年毎に更新している。
水災については水災対応マニュアルを備え、該当地域の自動車保険(車両保険)や火災保険の
ご契約者へ連絡入れを行っている。
また、社員全員の携帯に安否確認メールを設定し、災害時等の社員の安全確認、出社可能か、
等の確認ができるようにサイボウズと連動して使えるようにしている。

- ・安否確認メール 送受信動作確認テスト(会社より各自携帯へメール。受信後返信。)
実施日 2023年10月10日(火)(全体会議内)

3. 本社の水害についてハザードマップで確認を行い

BCPに沿った対応の確認を年1回全体会議で行っている。

地震情報



※BCP確認項目

対象地で今後30年以内に地震が発生する確率(%)

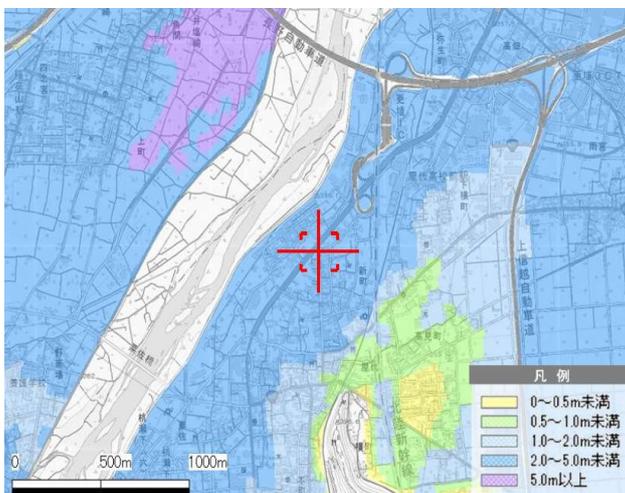
震度5強	震度6弱	震度6強
51.3 %	19.2 %	4.0 %

出典：国立研究開発法人防災科学技術研究所 J-SHIS マップ

当社は地震災害について「ややゆれにくい」地域であるが地震が発生しないわけではない。

南側約2kmの距離に長野盆地西縁断層帯がある。

洪水被害



当社は2~5メートルの浸水が想定され、事務所は2階にあり、浸水には強いが、孤立する可能性が充分にある。

以上の事から

- 1.連絡体制の確認と整備
- 2.災害発生時の初動対応
- 3.国道18号線との交差点角に位置し、交通事故への対応
4. 台風、浸水予測時の避難及び対応
5. その他近隣火災時の対応、等を
確認した。